事務局ニュースNO.13-02 2013. 7. 12 埼玉県学童保育連絡協議会
〒 330-0854 さいたま市大宮区桜木町4-147-1藤本ビル３Ｆ
TEL048-644-1571 FAX 048-644-1572
http://www.geocities.jp/saitama_gakudou/ Ｅメール gakudoust@yahoo.co.jp
【郵便振替】00160-7-93727 埼玉県学童保育連絡協議会

①９月14～15日の合宿研は「新制度」特集。ご参加を！
地域で「新制度」の学習会を開催しましょう

＊ ７月30日と８月２日開催の市町村担当者を対象とした学習会へもお誘い下さい

②参院選候補者・政党へ公開アンケートを行いました
③10月５～６日の「全国研inおかやま」へ多数ご参加を！

■ 県連協からの報告（^_^）v

１．子ども・子育て支援新制度をめぐる動き

（１）厚生労働省 「放課後児童クラブの基準に関する専門委員会」第２回会議が開催されました（６月26日）

第２回目は、「指導員の資格」「指導員の配置基準」「施設・設備の基準」「開設日・開設時間」「その他の基準」について、論点が示され、どう考えるか委員から意見を求める会議でした。省令で決める基準と、ガイドラインに入れる内容の区分けなどについても論点として出されていました。

□**指導員の資格**については、「児童福祉施設の設備及び運営に関する基準」第38条（児童厚生員＝児童の遊びを指導する者）をベースにすることが検討されました。資格が必要となる指導員の範囲（例えば、常勤だけで良いのかパートも入れるのか）、無資格者の指導員をどのように扱うのか、経過措置の必要性、認定講習の必要性、それとは別に現任研修の大事さなどが意見として出されていました。

□**配置基準**については、保育所のように子ども何人に職員一人とするのか、児童自立支援施設のように子どもの人数と指導員の人数に幅を持たせるのか（現在の児童数ランクに応じた指導員数のような方法）などについて議論があり、多くは子どもと指導員数の幅を持たせたものが良いのではないかなどの意見がありました。

□**施設・設備**について、「生活の場」として整備することの賛同はあるものの、広さで1.65㎡を基準とすることの難しさもあるとの意見もだされていました。
□**終了時刻**については、具体的な時間を明記するのは難しく「保護者の就労実態に即して」ということになるのではないかとの意見が多くありました。
　第４回目は、関係団体からのヒアリングということになっていて、厚生労働省からは全国学童保育連絡協議会などから意見を聴くことを予定しているとのことです。
　※この専門員会の資料は厚生労働省のＨＰで閲覧できます。

（２）埼玉県少子政策課　学童保育担当者を対象とした会議（９月12日）の開催を通知

　県少子政策課は市町村に対して、「新制度」と関わって放課後児童クラブ（学童保育）の担当者を対象とした会議の開催を通知しました。開催案内に「新制度施行に伴って他の市町村に聞きたいこと」を教えてほしいと記載したとのことです。
　新制度について市町村から条例化や６年生受け入れ等について問い合わせが多数あり、市町村が横（他の市町村）の情報をほしがっている様子を受けてのもののようです。県少子政策課としては、同会議においても、５月８日に県が文書で示した「埼玉県としては、放課後児童クラブ運営基準を活用して条例化を進めてほしい」旨も伝えるとのことです。

（３）県連協のとりくみ　市町村へ調査、担当者学習会の開催、「合宿研」の開催

１．市町村に対して、「子ども・子育て新制度」と放課後児童クラブに関わる調査を行っています

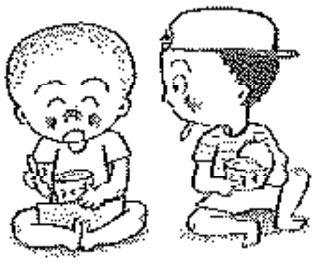
　県連協として６月28日付けで、市町村の「新制度」の当面の動きについての基礎データを集めるために市町村に調査を行いました。①「子ども･子育て会議」の設置　②学童保育関係者の参加の有無　③ニーズ調査の予算化　④条例化に当たって県「運営基準」を活用する意志の有無についてお聞きしています。７月11日現在40市町から届いています。
　回答の特徴として、①「子ども・子育て会議」等の設置は9月以降が多い　②「子ども・子育て会議」は、同会議として開催する地域もあるが、児童福祉審議会等をリニューアルして開催する地域も少なくない　③関係者の会議への参加は、連絡協議会等の既存の組織がある地域は多くが参加できている　④基準策定に当たっては。県運営基準を活用するところが多数であるが、国の動きを見てからというところも少なくない　等のことが分かりました。

２．市町村担当者を対象に「子ども･子育て支援新制度と放課後児童クラブ（学童保育）についての学習会」を開催します　７月30日　於：浦和／８月２日　於：熊谷（**※別紙**）

　市町村の学童保育担当者を対象に、①新制度のしくみと内容　②放課後児童クラブについて関わる点　③「埼玉県放課後児童クラブ運営基準」等埼玉県の施策・制度　等をご理解していただくことを目的として開催するものです。
　申し込み〆切を７月22日としています。地域連協（学童保育の会）やクラブ等からも、当該市町村の担当課へお誘いをして下さい。７月12日現在、10市町から12人の申し込みがあります。

３．９月14～15日開催の合宿研究会で学習します（**※４ﾍﾟｰｼﾞ参照**）

　「子ども･子育て支援新制度」とは何か？市町村の「事業計画」と「条例化」づくりにどうはたらきかけていくか？を学びます。



２．参院選に向けて公開アンケートを実施

７月21日投開票で参議院選挙が行われます。この選挙は、全国一区の比例区と各都道府県をエリアとする選挙区とがあります。比例区に11政党が、埼玉選挙区に８人が立候補しています。埼玉県学童保育連絡協議会では、比例区に候補者を選出している政党及び、選挙区の候補者に対して、学童保育に関わる問題について公開アンケートを実施しました。

７月９日までに、比例区の３つの政党と埼玉選挙区の２氏より回答が寄せられました。

結果を添付しました（※ﾌﾞﾙｰ+ｼﾛ）。これらを参考して選挙に積極的にご参加下さい。

３．県連協のその他のとりくみ

（１）第28回学童保育基礎講座を開催

年度初めに当たって、今日の学童保育と指導員をめぐる情勢のもとで、ここを大事にしていこう、ここに力を入れていこうという事柄について確かめ、学び合う場として開催してきました。

統一テーマを「学童保育は働く親と子どもの安全・安心の居場所～指導員の仕事で大切にしたいことを考える～」と題して、県指導員連協４沿線ブロックとも共催して、４会場で開催しました。

□春日部会場　６月14日（金）　春日部市民文化会館

【講師】片山恵子さん（さいたま市見沼小学童保育指導員）

□浦和会場　６月19日（水）　浦和コミュニティセンター

【講師】野中賢治さん（（財）児童健全育成推進財団企画調査室室長）

□深谷会場　６月26日（水）　深谷市幡羅生涯学習センター

【講師】永松範子さん（横須賀市指導員、全国学童保育連絡協議会副会長）

□川越会場　６月27日（木）　川越西文化会館（メルト）

【講師】片山恵子さん（さいたま市見沼小学童保育指導員）

（２）第１回代表委員会を開催　６月29日（土）於：さいたま市与野本町コミュニティセンター

11市25人の参加がありました。

【報告・承認事項】①県連協財政検討チームの設立について　②みけっちクラブについて

【討議事項】①「子ども･子育て支援新制度」について　②合宿研の内容について

【交流・意見交換】地域の近況・とりくみ等についての交流

４．全国学童保育連絡協議会の動き

（１）第38回全国学童保育指導員学校を開催　６月２日（日）　於：栃木県白鴎大学

北関東を中心に約1,030人、埼玉から約240人の参加がありました。

全体会講師の増山均氏（早稲田大学教授）が体調不良のため、下浦忠治氏（日本社会事業大学講師）に変更して行われました。下浦さんは「学童保育の視座がないと子どもの生活と権利は守れない」と題して講義しました。午後は、19分科会に分かれて学びました。

（２）全国連協　政府、政党・国会議員、地方６団体へ要請行動　６月19日（水）

厚生労働省をはじめ、内閣府・文部科学省・財務省、政党・国会議員、地方六団体などに、「公的責任において学童保育の制度を抜本的に拡充すること」「政府の2014年度の学童保育予算を大幅に増額すること」を求めて要請を行いました。

県連協からのお知らせ・お願い　(^0^)

1.「全国研inおかやま」(10月5～6日) にすべての学童保育から参加しましょう

昨年の「全国研in埼玉」の余韻が残っている方々もたくさんいらっしゃると思いますが、今年の全国研（全国学童保育研究集会）は岡山県で開催します。

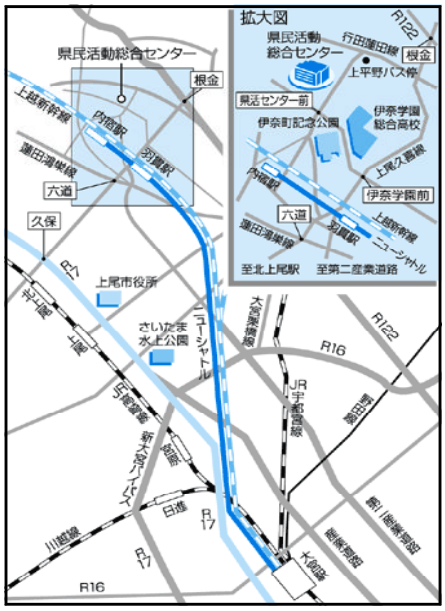
岡山実行委員会は、急ピッチで受け入れ準備を進めているところです。それに応えて、埼玉からは今年は、ゆったりと学びに出かけましょう。子ども･子育て支援新制度の問題、指導員は生活づくりの課題、保護者は保護者会や子育ての課題を学び合うために。すべてのクラブからご参加下さい。

チラシを各クラブ８部、添付しました。

2. 県「合宿研究会」へ多数ご参加を！

□テーマ「徹底学習！　徹底討論！　子ども･子育て支援新制度
　　よりよい事業計画・条例づくりを進めるために」
□日時　9月14日（土）13:00～　11日（日）10:00～
□場所　埼玉県県民活動総合センター　第１会議室（２階）

チラシをクラブ５枚（※Ａ３版ﾗｲﾄﾌﾞﾙｰ）添付しました。



3. 第２回県連協代表委員会へご出席を！

□日時　9月14日（土）18:00開場　18:15開会
□場所　埼玉県県民活動総合センター　301セミナー室

【交流】「子ども･子育て支援新制度」をめぐる市町村の動き・
　地域連協（学童保育の会）やクラブ等のとりくみの交流
【議題】①2014年度県予算等についての要望内容　②その他

4.「子ども･子育て支援新制度」の学びに県連協と全国連協の書籍をご活用ください！

□埼玉県学童保育連絡協議会発行　「埼玉の学童保育　2013 年度資料集」(500 円)
□全国学童保育連絡協議会発行　①「改訂版　学童保育ハンドブック」(1,800 円)　②「私たちが求める学童保育の設置・運営基準」(400 円)　③「学童保育の実態と課題（2012 年度版実態調査のまとめ)」(1,000 円)　**＊ＦＡＸないしＥメールにてご注文下さい！**

注文書　**ＦＡＸ送信**　048（644）1572　**Ｅメール** gakudoust@yahoo.co.jp

（送り先）　氏名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿
　　住所＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿
　　電話＿＿＿＿＿＿＿＿　　ＦＡＸ＿＿＿＿＿＿＿＿
　　メール＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

□「埼玉の学童保育　2013年度資料集」(500円)　＿＿＿＿＿冊
□「改訂版　学童保育ハンドブック」(1,800円)　＿＿＿＿＿冊
□「私たちが求める学童保育の設置・運営基準」(400円)　＿＿＿＿＿冊
□「学童保育の実態と課題－2012年度版実態調査のまとめ」(1,000円)　＿＿＿＿＿冊